

森紙店は、子供たちが興味を持たないため、コミュニティ（憩い・集い）の場として活性化させることは困難である。

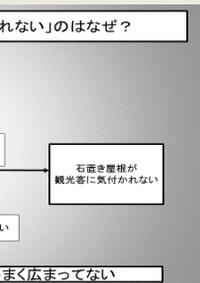


森紙店の問題点

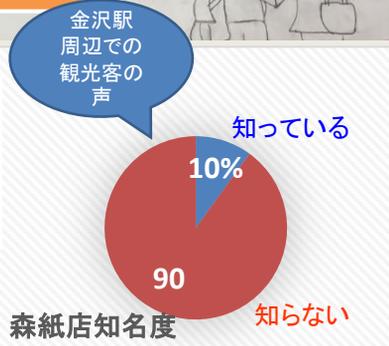
森紙店とは何ぞや？



森紙店が市街地で唯一の板葺き石置き屋根の町家であることに気付かない



板葺き石置き屋根と関連したイベント等を開催する必要がある
 地元の子供たちや観光客の子供たちに関心をもってもらうには知名度が低い



金沢市がこれまでに行った町家の改装例



ひがし茶屋休憩館



金沢学生のまち市民交流館

16年秋頃に金沢町家情報館が開館予定

達成条件

森紙店で開催するイベントと森紙店との関連性

- イベントにて、廃棄する屋根板を5~20%程度使用したイベントを開催する。

森紙店への来場者数

- 森紙店への子供の来場者を一回のイベントで5~10人程度とする。

憩いの度合い

- 滞在時間(平均)「憩うと長い」と仮定：25分以上

集いの度合い

- グループ利用の回数/年&グループ人数：80回/年&4人以上

各種調査内容

市場調査

市役所の声



群馬県にある国指定重要文化財旧黒澤家住宅板葺き石置き屋根である。

「森紙店を地域のコミュニティ(憩い・集い)の場としてもらいたい」
 「持続的に活用できる施設にしたい」

主要な仕様・条件

前提条件

森紙店の形状

- 板葺き石置き屋根の本来仕様の面積率(100%)
- 外観の町家風への改装率(100%以下)

面積等

- 敷地面積：約360平米、建築面積：137,08平米 etc.

最深積雪

- 26cm(2015年 金沢市)

森紙店にて開催予定イベント

金箔を利用した体験教室



廃棄する屋根板を再利用した体験教室



廃棄屋根板の活用

木製キーホルダー作製体験

木製コマ作製体験

金沢工業大学
 2016年度
 プロジェクトデザインⅡ
 クラス番号：VA302
 チーム番号：2
 チーム：2班
 チームメンバー名：五十川雄丈
 石田尚之
 江上勢太
 兼子拓巳
 小林雛乃
 鈴木恭介
 多保田康